

紫波町汚泥再生処理センターが稼動します

今年4月から、町内で発生するし尿および浄化槽汚泥の処理を「紫波町汚泥再生処理センター」で行います。

これに伴い、し尿および浄化槽汚泥の収集運搬業者と収集に関する問い合わせ先が下記のとおり変更になります。

◇し尿および浄化槽汚泥の収集運搬業者

○し尿 〈現 行〉 紫波衛生社、藤原清掃社
〈4月から〉 紫波環境(株) ☎672-2656

○浄化槽
〈現 行〉 (有)紫波浄化槽、(株)光衛生社、
(有)理水興業、(有)稗貫衛生社
〈4月から〉 紫波環境(株) ☎672-2656
(株)光衛生社 ☎0198-23-3600

◇し尿および浄化槽汚泥の収集についての問い合わせ

〈現 行〉 紫波、稗貫衛生処理組合
〈4月から〉 紫波町役場 環境課 生活環境室
☎672-2111 内線2260、2262

※紫波衛生社と(有)紫波浄化槽、藤原清掃社は合併して、紫波環境(株)に社名を変更しました。

※(株)理水興業と(有)稗貫衛生社は、4月から町内での収集を行いません。

現在、収集運搬をお願いしている業者に確認し、4月から収集運搬できる業者に依頼するようお願いいたします。

水と緑を守り育てる活動で知事感謝状 滝名川河川環境愛護会

滝名川の保全活動に取り組む滝名川河川環境愛護会(佐々木嘉一郎会長)は、平成29年度水と緑を守り育てる活動知事感謝状を授与されました。同会は「地元の大事な川をきれいに」を目的として平成11年に設立。沿線住民や小中学校PTA、地元企業など約350人による清掃活動を18年間継続し、環境保全意識の醸成への貢献が評価されました。佐々木会長は「この感謝状は地域の皆さんの力でいただいたもので、感無量です。これを糧にさらに環境への意識を高めていきたいです」と今後の活動に意欲を見せていました。



(左から)会員の阿部淳一さん、小田中實さん、熊谷町長、佐々木会長、大沼啓之助副会長

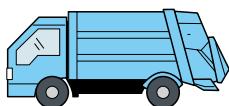
報告 家庭ごみ月別排出量

町内で排出された家庭ごみの量を、3カ月ごとにまとめてお知らせします。

単位：kg

■ごみ減量の目標

本年度の家庭ごみの削減目標
1日1人当たりの目標…587g
(平成28年度と比較して1日当たり約6g、1カ月180gの減量が必要です)



	10月	11月	12月	合計 (第3四半期)	直近3カ年 平均との比較
燃やせるごみ	375,840	375,300	321,340	1,072,480	101.8% ↑
生ごみ	69,560	65,370	59,400	194,330	90.3% ↓
資源ごみ	61,290	56,540	66,110	183,940	91.3% ↓
大型・不燃ごみ	43,770	46,590	38,990	129,350	100.0% →
その他	3,660	2,210	2,840	8,710	87.0 ↓ ↓
計	554,120	546,010	488,680	1,588,810	98.7% ↓

例年3月は進級や転居などもあり、古紙や段ボール、大型・不燃ごみの排出量が増加する傾向にあります。

大型ごみに捨てようとしているものは、本当にもう使えないものかを確認し、まだ使えるものはリサイクルショップなどの利用も検討しましょう。(リユース)

古紙やダンボールはリサイクルできる資源です。地区の集団資源回収やスーパーなどの店頭回収を積極的に活

用しましょう。(リサイクル)

新年度に向けて物を買う機会が増えるこの季節。「本当に必要なもの」「長く使えるもの」を選ぶようにしましょう。(リデュース)

今一度、暮らしの中で3つのRを実践し、ごみを減らしていきましょう。

